

科学技術・学術審議会 技術・研究基盤部会（第1回）議事録

1. 日 時 平成13年4月25日（水） 17:30～18:30

2. 場 所 文部科学省別館第2会議室

3. 出席者

（委員）阿部、末松、飯塚、井戸、岩田、岡、桂、岸、北村、黒木、小原、清水、白川、平石、古澤、堀場、安井

（事務局）遠藤研究振興局長、坂田研究振興局担当審議官、磯田政策課長、泉振興企画課長、磯谷技術移転推進室長

4. 議題

（1）部会長及び部会長代理の選出について

委員の互選により、阿部委員が部会長として選出された。また、阿部部会長により、川崎委員が部会長代理に指名された。

（2）技術・研究基盤部会の運営規則について

資料2に基づき事務局より説明の後、原案のとおり了承、決定された。

（3）当面の審議事項について

資料3に基づき事務局より説明の後、了承された。

（4）委員会の設置について

資料4に基づき事務局より説明の後、下記概要のとおり意見が交わされ、知的基盤整備委員会及び産学官連携推進委員会の設置が了承された。

（○…委員、△…事務局の発言。）

○ 知的基盤整備委員会での知的基盤整備計画の審議については本年7月中に決定、また、産学官連携推進委員会での審議については本年6月末に中間報告を行うとのことだが、審議を急ぐ理由は何か。

△ 委員会等での審議結果を具体的施策につなげていくためには、次年度の予算に反映させる必要があり、予算要求スケジュールとの関係でこのようなスケジュールとしている。また、総合科学技術会議でも予算の重点方針を6月末を目途に打ち出すために関係するワーキンググループ等を動かしている。特に産学官連携に関しては、党、他省庁でも非常に早いペースで議論が行われており、これらの動きに乗り遅れることのないよう対応が必要。このため、月1回から2回のペースでそれぞれの委員会を開催させていただき、一定のものをとりまとめたいただきたいと考えている。

○ 産学官の大学の部分だけが遅れて発信されることは避けなければならない。

○ 国研の独法化に伴い、産学官の官、独法の表現が難しくなっている。整理が必要。

△ 本件については、ご指摘のとおり国研独法と言ったり、独法国研と言ったり様々な表現をしているのが現状。正しくは独法とだけ略すのが正しい表現だと思う。大学を含める場合は公的研究機関と言うのが良いのではないか。いずれにせよ、レポート作成の際には正確な表現に努めたい。

○ 知的基盤整備については他省庁のことも含めてこの委員会で議論することになるのか。それとも他省庁は他省庁で別に議論が進められているのか。

△ オールジャパンで議論いただき、計画づくりをしたいと思っている。そのためには各省庁との連携、協力が必要となるが、今回の諮問を行うに際しては各省庁に説明しており、実際の計画に何を盛り込むかということについても各省庁に相談しているところ。なお、経済産業省の中に産業構造審議会というものがあり、その中に知的基盤整備特別委員会というものが設置され、計量標準や標準物質、遺伝資源、化学物質の安全データなどの知的基盤の整備の進め方について議論が行われている。同委員会と本委員会の関係については、経済産業省とはそれぞれオブザーバーを交換して連携しつつ行うということで合意しているところ。また、産学官連携推進委員会についても同様に経済産業省の委員会との間でオブザーバーの交換をすることとしており、連携をとりつつ進める予定。

○ 経済産業省は経済産業省としての視点から議論をしていくと思うし、当部会では大学とか国研という立場から議論をしていくこととなる。議論がダブっているのではないかと遠慮するおそれもあり、こちら側の視点で漏れがないように議論をすることが重要。

○ 知的基盤整備については、前からこの委員会のようなものがあり、既に幾つかの計画を承認している。現在の計画がどのくらいあり、どの辺まで進んでいるかについては、新しい委員の方もおられるので一度紹介すべきではないか。

△ 科学技術会議時代に政策委員会の下に知的基盤小委員会というものがあり、そこで10カ年計画をとりまとめていただいた。今回、科学技術・学術審議会においても第2期科学技術基本計画にある2010年までを目指した計画づくりをお願いしているところ。ご指摘の点を踏まえ、現在の整備状況及び現状を踏まえて今後行うべきことについて紹介した上で議論をスタートさせていただきたい。

○ 6月末という時間が限られている。月に1、2回、2時間程度議論してもろくな結論が出ない。できたら一晩くらいかけてとことんやったらどうか。

○ 事務局で会議の時間、日程等を工夫し、できるだけ実の上がるようなスケジュールにしてもらいたい。

△ 今後の部会の日程については部会長とご相談しながら調整していきたい。

5. 今後の日程

今回は委員会の審議状況に応じ、各委員との日程調整の上、事務局からあらためて連絡することとされた。